教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

絆 ～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校
校報　Ｎｏ４３
令和８年 10 月 28 日
文責：校長（菊池）

若杉祭大成功　生徒のふり返り

「若杉祭を通して学んだこと」

１年Ａ組　佐々木結樺

私たちの学級にとって、若杉祭は仲間たちとの絆を深め、一人一人の成長につながる行事となりました。準備を進める中で、お互いの考えを尊重し、声をかけ合いながら、一つの目標に向かうことができました。その積み重ねが学級全体の団結力を高めることにつながったと思います。

若杉祭当日は、これまでの練習や準備の成果を発揮し、みんなで力を合わせてきたことが形になる達成感を味わいました。また、シンガクのリーダーとして、仲間の気持ちを考えて行動し、一人一人が自分の力を発揮できるように支えることを意識しました。時には、自分の役割を果たす大変さを感じることもありましたが、仲間に助けられながら最後までやり遂げた経験は、自分自身を成長させてくれました。

今回の若杉祭を通して、行事を成功させるためには、全員が同じ目標を持ち、それぞれの役割に責任を持つことが重要だと気付きました。来年度は、今回の経験や反省を生かし、自分から積極的に行動するとともに、一人一人の良さを認め合い、学級全体の力をさらに高められるように行動したいです。そして、学級の仲間とともに新たな課題にも挑戦し、今年度を越える若杉祭を創り上げたいです。







「がんばった若杉祭」

２年Ａ組　畠山祐季

今日の若杉祭では、特にがんばったのは合唱と学年総合発表です。

合唱では、最初はふざけたり、歌わない人がいたりしたけど、練習を重ねるごとにだんだん歌声が良くなってきて、本番では今まで練習でやってきたことをしっかり出せて良かったです。

総合発表では、みんなで協力してよりいいものをつくることができて良かったし、セリフを覚えることができて良かったです。

他に会場準備の時に自分から積極的にやることができたので良かったです。

この若杉祭を通して、協力して行動することの大切さをより知ることができたし、来年は３年生で、最後の若杉祭になるから、合唱や学年の総合発表では、１・２年生のお手本となるようにがんばりたいと思います。そして、今年の若杉祭を来年は越したいです。そのために、日常生活をしっかりやっていきたいです。





「若杉祭を終えて」

３年Ａ組　神山芽生

最後の若杉祭が終わりました。長いようで短い準備期間を経て、全校生徒がそれぞれ自分のベストを尽くせていたと思います。

３年生は、中学校生活最初で最後の演劇に挑戦しました。私は助監督を務め、監督を支えながら小さい仕事をしました。役者の人たちは最初のうちはぎこちなかったけど、回数を重ねるうちに声が大きく、感情が入るようになりました。また、監督からのアドバイスを受けて身振り手振りを追加すると、より本格的になっていきました。

本番では、大勢の観客がいる中で、堂々かつ感情が入った声で役者たちは演じることができていたし、パワーポイントや音響、照明など主役ではないけれど自分の仕事をやりきることができていたと思います。

合唱では、自分はアルトを担当しました。学年合唱の「心の瞳」と全校合唱の「点描の唄」、どちらも最初のうちは他のパートに音が消されかけていたけど、練習に練習を重ねた結果、一番大きくとは言えないど、他パートと並ぶくらいに声を出すことができたと思います。

今回で３年間の大きなイベントが終了して、いよいよ受験勉強が主な活動になります。第一志望校に受かるためにも、日々の過ごし方や切り替えを大切にしたいです。

皆さん、先日の若杉祭お疲れ様でした。若杉祭では、取り組みから生徒たちの主体的な活動の様子が見えました。、また、うまくいかないことがあっても工夫して乗り越えようとする姿勢が見えたので良かったです。今回の若杉祭の成功は、生徒一人一人が練習を大事にして積み重ねてきたことがあってこその成功だと思います。この若杉祭活動の過程で得た日常生活の力を今後の生活に生かし、来年も「小さな学校の大きな誇り」を引き継いで頑張ってください。

【生徒会長　照井正煌】



